

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市立総合医療センター市民モニター会議(第1回)		
事務局(担当課)	健康医療部 保健・医療政策課 (内線2112)		
開催日時	令和4年12月13日(火) 午後2時00分～		
開催場所	川西市立総合医療センター ガーデンホール		
出席者	委員	熊手会長・酒井副会長 中江委員・鈴木委員・尾野上委員・宗方委員・名塚委員	
	その他	指定管理者 川西市立総合医療センター 清水 事務部長 安島事務長 高橋医事課長	
	事務局	健康医療部 保健・医療政策課 作田部長 塩川副部長・西村課長補佐・藤本	
傍聴の可否	不可	傍聴者数	—
傍聴不可・一部不可の場合、その理由	当会議の意見交換などの内容を公にすることにより、率直な意見の交換が不当に損なわれる恐れがあるため、傍聴を不可とする。		
会議次第	1. 開会 2. 開会あいさつ 3. 委員紹介 4. 議事 (1)病院見学 (2)川西市立総合医療センターに関する意見交換について 5. 閉会		
会議結果	別紙会議経過のとおり(要旨)		

審議経過

1. 開会

2. 開会あいさつ

部長あいさつ

川西市立総合医療センターの患者様目線での意見を頂戴するために参加いただいた。思いのまま正直に、忌憚のないご意見をいただいて、サービス改善につなげていきたい。

3. 委員紹介

東谷コミュニティ協議会 会長 熊手 輝秀

牧の台コミュニティ協議会 中江 眞理

多田コミュニティ協議会 会長 鈴木 光義

川北コミュニティ協議会 会長 酒井 弘

加茂小コミュニティ協議会 会長 尾野上 一夫

川西小学校区コミュニティ協議会 宗方 正彦

川西市障害者団体連合会 名塚 かがり

会長及び副会長の選出

会長:東谷コミュニティ協議会 会長 熊手 輝秀

副会長:川北コミュニティ協議会 会長 酒井 弘

会長あいさつ

荷が重く不向きだと思うが精一杯頑張らせてもらうので、よろしく願います。委員の皆様から、川西市立総合医療センター患者サービスの向上を目指して、活発な意見をいただきたい。

4. 議事

(1)病院見学

資料2「患者数月別集計表」に沿って、指定管理者から病院現状を説明

指定管理者：9月1日に市立川西病院・協立病院から雨の中ではあったが事故なく129名の入院患者に転院いただけた。救急は9月2日から受け入れを開始し、外来は9月5日にスタートした。

入院患者数は、9、10月それぞれ、コロナ病床を確保した上での数字となっており、想定を上回る稼働となっている。全室個室であること、救急を積極的に受け入れていること、近隣のクリニックから入院・手術が必要な患者の紹介をいただいたことなどによるものだと考

えている。統合前の2病院ともに消化器系の診療に強みがあったが、その強みを活かした診療ができています。

外来は患者数が着実に増えているが、どんどん増やしていこうという考えではない。当院は地域医療支援病院となっているため、当院での治療が終わった患者には逆紹介をし、病診連携を図っていきたい。

資料3「川西市立総合医療センター整備事業書」に沿って、病院見学

(2)川西市立総合医療センターに関する意見交換について

委員： 非常出口の案内が少ないと思うが敢えてしていないのか。病院がとにかく大きいので、常用のサインが見当たらないのが気になった。

事務局： 消防法上は問題ないと思う。病棟の廊下の突き当たりなどにはサインがあり、外来部分については確認する。

委員： 要綱について、(設置)第1条とするのであれば、事務局をどこに置くのか記載しないといけないのでは。

事務局： 要綱の内容を確認する。

委員： 第2条の市民等の「等」な何を指すのか。

事務局： 委員に障害者団体の代表など、川西市民以外の方にも参加いただく場合を想定して「等」と記載している。

委員： 第4条の「選任することができる」の主語がないのでは。

事務局： 確認する。

委員： モニターする事項を「職員の態度」など項目出ししてもらわないと、何をモニターするのか分からない。

事務局： 公設公営の病院が公設民営の病院になった際にサービスが低下するのではないか、という点をチェックしてもらうために市民モニターとして参加いただいている。項目ごとに評価することについては、専門家などで構成している経営評価委員会で評価しているので、市民モニター会議では患者目線でのサービス向上について議論してもらいたい。次回以降の会議では、病院でおこなった患者アンケートなどの内容についても、ご意見をいただきたいと考えている。

委員： 資料2の患者数について、1日あたりの患者数というのはいかにどのように算出しているのか。

指定管理者： 入院については合計患者数を30日ないし31日で除して算出している。外来については土日祝を除いた稼働日数で除して算出している。土曜日は一部外来を行っているが、これは特殊外来のため1日としてカウントしていない。

委員： 南部から北上して来院した患者で、川西市立総合医療センターの場所がわかりにくいという声があった。

事務局： 県道に道路標識を設置している。3年後にはナビにも対応してくると思う。もしここに標識があればというところがあれば、教えていただきたい。

委員：一般車両は南側から西口前、北口前を通して東側に通行できるのか。

事務局：車道は整備している。北口前に障がい者用の駐車場があり、利用される車両には案内しているが、一般の車両については積極的な案内はしていない。

委員：南口に障がい者用の駐車場を設けることはできないのか。

事務局：南口は送迎車やバス、タクシーなどが通り、限られたスペースなため駐車場を設置するのは困難である。障がい者本人が運転している場合には北口前の障がい者用の駐車場を案内しているが、付き添い者が運転している場合は南口で患者を降ろしていただいて、キセウ第1駐車場に停めてもらうように案内している。バスの乗り降りの案内もあるため、常時病院スタッフが1名待機しており、南口で降りた後の患者のフォローは、そのスタッフが対応している。

委員：ナビダイヤルは電話代が割高になるが、市民にとって何かメリットがあるのか？

指定管理者：ナビダイヤルで用件毎に振分けることによって、回線混雑の回避を図っていたが、開院当初は想定をはるかに上回る問い合わせがあったため、結果的に電話が繋がりにくい状態が続いた。今後、ナビダイヤルの振分け機能の見直しなどを行い、繋がるまでの時間の短縮やかかりにくさの解消など改善していく。

委員：ナビダイヤルを廃止して固定電話に置き換える予定はあるのか。

指定管理者：置き換える予定はない。

委員：川西市立総合医療センターは診療所やクリニックの紹介状がないと診てもらえないのか。

指定管理者：初診については自宅や通勤先などの近くの診療所やクリニックの診察を推奨しているだけで、紹介状がなくても診療は受けられる。

委員：紹介状がない場合、どれくらい診療費があがるのか。

指定管理者：選定療養費として7,000円が発生する。これは国が定めた制度であり、病院独自のものではない。

事務局：川西市立総合医療センターは、国が定めた最低料金で設定している。

委員：クレジットカードでJCBが使えないのはなぜか。

指定管理者：できるだけ利便性の高いものにしたいとは考えているが、現在の会計システムはJCBの利用ができないものが採用されている。

委員：今後使えるようになるのか。

指定管理者：今の段階ではなんとも言えない。

委員：駐車場から病院までが遠く、認知症の患者を降ろした後など、安心して駐車場に停めにくい。降ろした後の患者はスタッフが対応するなど、もう少しアピールした方がいいのではないか。

事務局：駐車場から病院までの距離については、駐車場に新たな出入り口を設けて距離を縮めるなど対策を行っているが、歩道がないなどの問題があることも認識している。仮に公園などを割いて駐車場を確保するにしても、今現在の駐車場利用率が80%程度であるため、この

利便性の向上のために何億という費用を費やすことは難しい。なんとか負担感を和らげる良い方法がないか、今後も模索していく。

委員：地域のクリニックにかかった際、紹介先に川西市立総合医療センターがなかった。これは、地域とのコミュニケーション不足が原因ではないのか。

指定管理者：川西市立総合医療センター開院後、川西市のみならず、池田市や伊丹市、宝塚市の医師会にも出向き、登録医の案内をしている。順次、登録医の申請をいただいております。川西市立総合医療センター連携登録医として、クリニックの入口などに貼っていただけるプレートをお渡ししている。患者支援センターには、登録医のクリニックの案内チラシを配置している。今後も市外含めて、連携登録医を増やしていく予定。

委員：現在の職員数は？

指定管理者：総勢900人。医師が約100人、看護職が約450人、医療技術職が約150人、その他が介護福祉士など、事務職となっている。

委員：回復期はどこに病院に転院させているのか。

事務局：近いところは第二協立病院で、今後は市立川西病院の跡地に今井病院が来る予定なので、そのあたりが中心になる。

委員：川西市立総合医療センターの開院当初は色々困難もあったと聞いているが、3ヶ月経って従業員も新しい機器に慣れてきたのか、現在は落ち着いてきたのかなと思う。準備期間をもっと設けておれば、開院後ももう少しスムーズにいけたのではないかなと思うが、今日見学をして悪い印象は持たなかったもので、これから信頼してもらえるような病院作りをしてほしい。またこの市民モニター会議の意見を参考に、サービスの低下がないように頑張ってもらいたい。

指定管理者：ご意見箱を要所に設置し、お褒めの言葉やお叱りの言葉をいただいております。今後は患者アンケートなども参考に、サービスの向上に努めていく。

また1月21日には、アステホールで市民向けの医療講座を開催する予定としている。川西市立総合医療センターがどのような病院なのかなどを、市民に広くPRしていく。

委員：ホームページでも、しっかりと宣伝してもらいたい。

委員：精神障がい者のコロナの患者は受け入れているのか？

指定管理者：その時の医師の判断で、必要があれば専門病院に転送、転院などを行っている。第8波の影響で、コロナ病棟が満床ではあるが、川西市民については極力川西市立総合医療センターで受け入れられるように努めていく。

まとめ：本日の意見、提案で、改善可能なものは速やかに改善に取り組んでいただきたいと思います。

5. 閉会